

P T A通信【2020.12.10】

足利市立矢場川小学校
P T A会長 櫻井 健太

日頃より、お世話になっております、P T Aの櫻井です。
先日実施致しました、コロナ過における意識調査に御協力ありがとうございました。
アンケートの回答以外にも多くのご不便や、ご苦勞があるかと思ひます、
皆様の声が聴けた事で、今後に対する対策なども、足利市小中学校P T A連合会などで協議
致しまして、役立てていきたいと思ひます。

コロナ過の過ごし方で、私の家族を例に例えますと
2月頃から、家族会議を何度か行い、家族のルールを決めて過ごしてまいりました。
当初は国や市などの指導も不透明でしたので、家族会議と題しまして、
何となく指導するのではなく、子供たちにもちゃんと意識させ、家族のルールを
作り、自発的に意見を出させる事で、比較的ストレスも感じることなく
過ごしてこられたと思ひます。
アンケートの結果を拝見いたしました、低学年層の困りごとが多いかと感じましたの
で、家族単位での意識の共有に対して、すべてを理解させるのは難しいかもしれませんが、
素直さを引き出してあげて自発性を促してあげるなど、試してみるのもよいのかなとも
思ひます。
緊急事態宣言の時などは、自粛するにしてもメリハリをつけるなど致しました。
始業式などを基準にして、その二週間前までは普通に過ごそうと決め、
家族で誰かコロナにかかっても、他にうつさないようにしようなど、
いろいろと会議の中で話し合いました。
押さえつけようとせず、期限を設けてあげるなどしたりしてみましたが、
結果として、県外に出ることもなく、上手く自粛と向き合っていたのかなと思ひます。

今まさに、第三波の波が押し寄せ、足利市でもクラスターが出るなど、
より身近にせまってきていますが、私の思うP T Aの意識の共有と致しますと、
もう何処で感染してもおかしくない状況ですので、もし矢場川小で、感染者や濃厚接触者が
出た場合には、只々安否を気遣い、一刻も早く元の生活にもどれるようにと、共有して頂け
たらと思ひます。
また、このコロナというものが、いじめに発展しないように
子どもたちにも伝わってくれば幸いです。

来年を迎えれば、6年生は最後の学期になります。
気持ちよく卒業してもらおう為にも、子どもたちみんなが、笑顔で過ごせる事を願ひながら、
保護者の皆様におかれましても、御協力と御理解の程、宜しくお願ひ申し上げます。